

ARTIMEET

理念

人と人が繋がり・共に育ち創るコト

目的

- 1 クリエイティブな発想で、人と人を繋ぐこと
- 2 社会と人との、よりよい関係性を創造すること
- 3 芸術を通じて、人の発達や感性を育むこと

【アート×特別支援】に独自の視点を持ち、2017年からアートによる発達支援プログラム提供を開始。コミュニケーションとプロセスを重視したアートプログラムの研究・開発。人の心が生き生きとし、一人ひとりの能力や特性が生きることを目指している。これまでに、未就学児親子、知的障がい児、肢体不自由児、重度重複障がい児、認知症当事者と介助者など支援を必要としている方々を対象とした対話型アートワークショップを実践。

ARTIMEET プログラム提供先

児童発達支援・放課後デイサービス虹の橋、東部地域療育センターばけっと、南部地域療育センターそよ風
一宮市三岸節子記念美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、長久手市文化の家、大府市おおぶ文化交流の杜アローブ等



ARTIMEET 主宰：時高直子

2002年 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業
2003年 CCA北九州（現代美術研究所）修了
愛知県の特別支援学校美術教諭
アートコンダクター（対話型アート鑑賞 ARTRIP®の進行役）
臨床美術士（クリニカルアーティスト）

2021年 長引くコロナ禍を機に、今の世の中に必要不可欠な芸術の本質と存在意義を深く考え、長久手市に新企画を提案したことが「つながり」の始まり。長久手市とARTIMEET共同企画で公演「近藤薫の音楽哲学」講演会とコンサートを開催。以降、長久手市と東京大学先端科学技術研究センター先端アートデザイン分野の連携に協力。2022年から、長久手市委託職務アートコーディネーター兼マネジメント業務を担当兼任。現在、長久手市×東大先端研 NNCP (Nagakute Nature-Centered Project) プロジェクト実現に尽力。近藤薫氏監修の構想「芸術環境創造」の社会実装に向けて、長久手市プロジェクトチームと協働中。